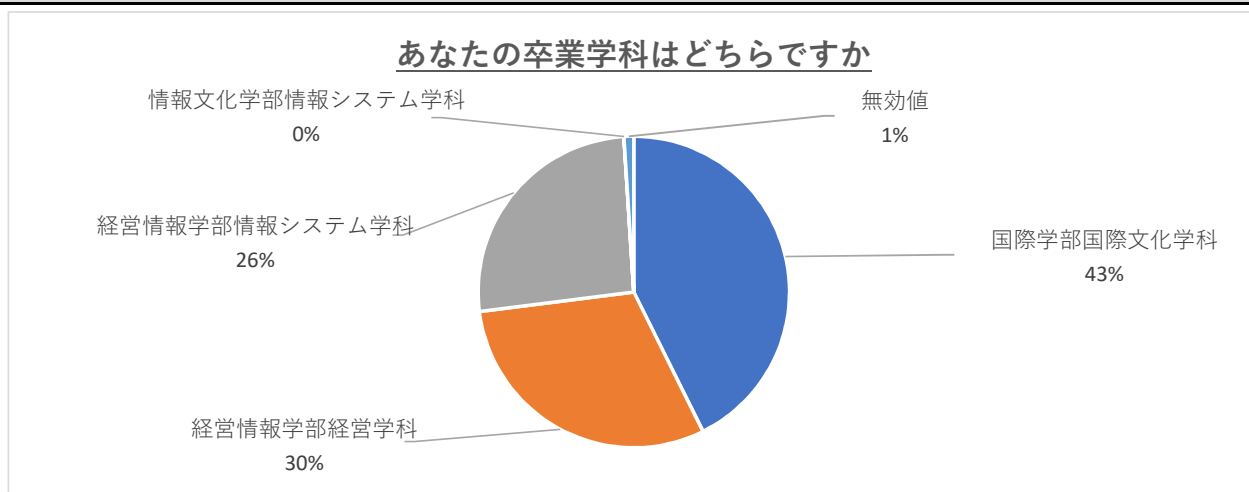


令和3年度 卒業生アンケート

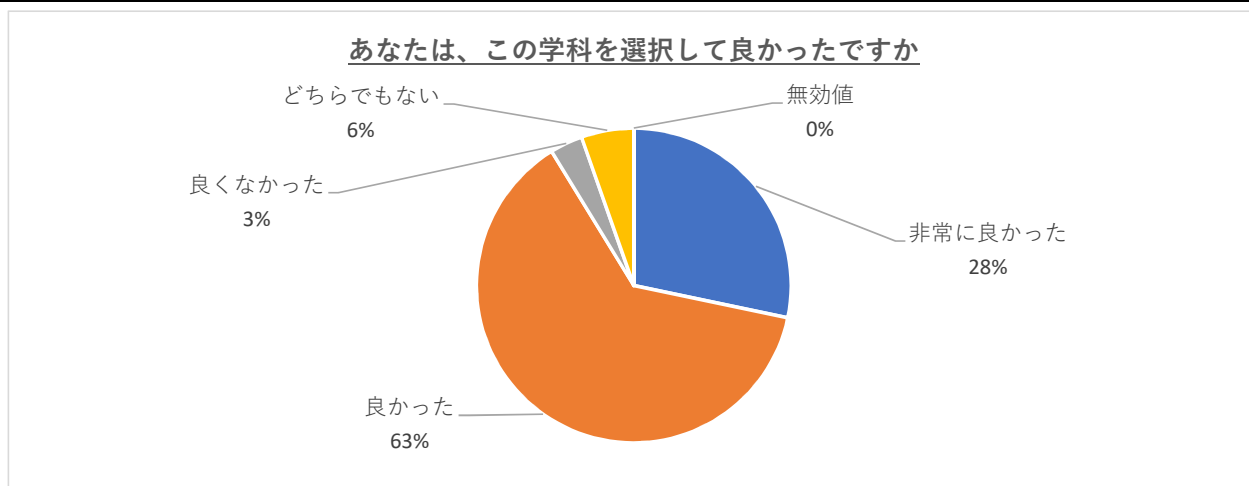
実施期間	令和3年11月下旬～令和4年1月中旬
対象者	302名 内訳 国際学部 国際文化学科 4年次生(126名) 経営情報学部 経営学科 4年次生(94名) 経営情報学部 情報システム学科 4年次生(75名) 情報文化学部 情報システム学科 4年次生(7名)
回収数	300名
回収率	99% (小数点以下切捨)
補正後回収率	97% (小数点以下切捨) ※卒業見込者から卒業不可者を除く(7名)

アンケート結果 (抜粋)

あなたの卒業学科はどちらですか



あなたは、この学科を選択して良かったですか



91%の学生から、所属した学科は非常に良かった、または良かったと回答があった。なお、同項目における昨年度の実施結果は87%、一昨年度は88%であり、引き続き高い割合で推移しており、令和3年度においては9割以上となった。学生からの満足度は総じて高いと読み取ることが出来るのではないかと。

新潟国際情報大学で、よく学べたものはなんですか？（複数回答可）

※学科ごとに、上位5項目を抽出した。

国際学部 国際文化学科

選択肢	比率
国際化の理解	51%
海外留学・海外研修	40%
C E P	35%
英語	35%
異文化理解	35%

経営情報学部 経営学科

選択肢	比率
経営と組織	74%
情報化の理解	22%
人間と社会	22%
情報処理演習	21%
インターネット	20%
情報システム	20%

経営情報学部 情報システム学科

選択肢	比率
情報システム	70%
情報処理演習	63%
コンピュータと通信	48%
情報システム演習	48%
情報化の理解	46%

回答結果を学科ごとに分けてみると、学科の特徴が数字に如実に表れていることが分かる。特に経営学科では74%と全体の約3/4という多くの学生が「経営と組織」についてよく学べたと回答している。本設問は複数回答可としており、経営学科では一人あたりの回答における平均選択個数は2.25個であったことから、回答項目「経営と組織」と「他の項目」のようなセットで回答する学生が多かったと言えるのではないかと。他に情報システム学科では、一人あたりの回答における平均選択個数が全学科の中で最も多い3.6個であったことから、学生の学びの体感には複数の項目にわたってあったと読み取ることができるのではないかと。なお、国際文化学科の一人あたりの回答における平均選択個数は2.8個であった。こちらも同様に、複数の項目にわたって選択している学生が多いことが分かる。

在学時に取得した資格（検定）はありますか？（複数回答可）

国際学部 国際文化学科

選択肢	比率
MOS Specialist	65%
実用英語技能検定	23%
無回答	22%
TOEIC	19%
中国語検定	8%
その他資格（検定）	7%
MOS Expert	2%
ロシア語能力検定試験	2%
韓国語能力試験TOPIK	2%
ハングル能力検定	2%

経営情報学部 経営学科

選択肢	比率
無回答	66%
日商簿記検定	12%
MOS Specialist	9%
秘書検定	7%
TOEIC	4%
ITパスポート試験	4%
その他資格（検定）	4%
MOS Expert	3%
FP技能検定	3%
基本情報技術者試験	1%

経営情報学部 情報システム学科

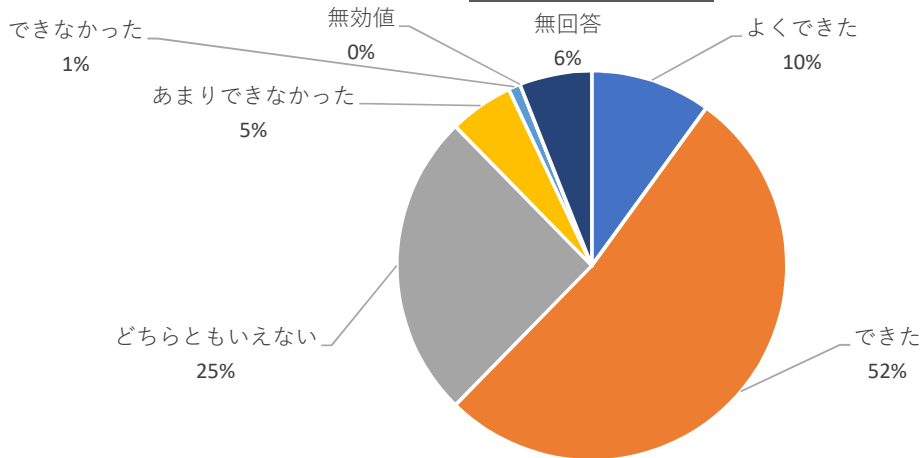
選択肢	比率
無回答	54%
JABEE	23%
ITパスポート試験	19%
MOS Specialist	10%
MOS Expert	9%
基本情報技術者試験	5%
その他資格（検定）	4%
秘書検定	3%
FP技能検定	3%
TOEIC	1%

こちらの結果も同様に、学科の特徴がよく表れている。国際文化学科は外国語、経営学科は会計、情報システム学科は情報系の資格取得比率が高い傾向にある。また、本学のカリキュラムにあるように、社会人における実務のベースとなるMicrosoft Officeアプリケーションの操作修得「MOS Specialist, Expert」取得に全学あげて取り組んでいるところであるが、その結果も数字に表れていると言えるのではないかと。

なお、在学時に取得した資格（検定）について、本調査結果では学生から回答があった結果をそのまま反映していることから、実際の資格（検定）取得比率とは、ずれがあることを補足する。（なお、本学では資格取得奨励奨学金を用意しており、指定した各種資格・検定試験に合格した学生に奨学金を授与している。授与数は本学ホームページの「NUIS早分かり」にて公開しているので、参照されたい。）

4年間の学修を通して、在籍学部における以下の卒業時到達目標が達成できましたか？

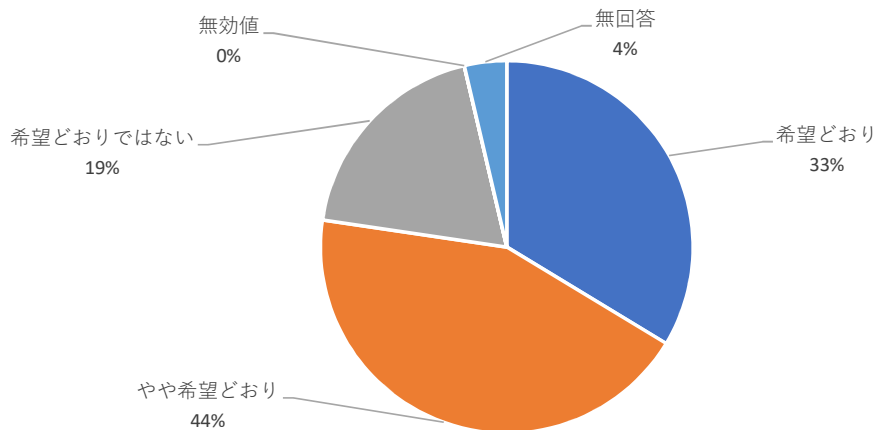
4年間の学修を通して、在籍学部における以下の卒業時到達目標が達成できましたか？



本調査実施時に、回答用紙と一緒に卒業時到達目標（ディプロマ・ポリシー）が印字された用紙を配布し、達成具合を聞いた。60%以上の学生において、卒業時到達目標（ディプロマ・ポリシー）が達成できたという認識を持っていることが分かった。その一方で25%の学生からは「どちらとも言えない」、また「あまりできなかった」「できなかつた」という認識の学生も合わせて6%いることが明らかとなった。引き続き全体的な底上げへの努力が多方面において求められているといえるのではないかと。

あなたの、卒業後の進路（就職先）は希望どおりでしたか？

あなたは、卒業後の進路（就職先）は希望どおりでしたか？



本調査実施時点（令和3年11月下旬～令和4年1月中旬）の調査結果である。昨年度に引き続きコロナ禍における就職活動となった。調査時点では、希望どおりもしくはやや希望通りの回答が77%で昨年度とほぼ同じであった。

ウェブを通じた面接などコロナ禍における新しい就職活動の様式にきめ細かく対応してきたことも一因となり、今年度の就職実績はコロナ禍においても昨年度より大幅に回復した。本学ではキャリア支援課を中心に、本アンケート実施以降も引き続き就職活動における学生サポートを実施しているところである。